

町長の所信表明

に対する代表質問

町長所信表明は、
12月22日発行の広報ゆざわをご覧ください。

総務文教常任委員会

師田 保

若者の人口増加

問 少子高齢化や過疎化に歯止めをかけるため、雇用確保の具体的対策は。

答 観光は様々な産業に波及することから、湯沢の魅力を高めて交流人口を拡大して、雇用の場を創出したい。

問 若者の結婚を町ぐるみで支援する婚活支援の具体策は。

答 国の「地域少子化対策事業」に関係団体のアドバースを受けて応募し、出会いの場を増やす取り組みを検討したい。

問 若者世代が安心して子どもを生み育てられる環境整備の具体策は。

答 若者の生活基盤である働く場の確保と、子育て環境の充実を図る。

子育て支援

問 子育て世代の支援体制の強化の具体的な方策は。

答 湯沢学園の子育て支援センターを独立した組織として、管理職、保育士、保健師を配置し体制を充実させる。

問 働く保護者を支援するための保育園、児童クラブの充実。

答 子ども、子育て支援法に基づき「子ども、子育て支援計画」を策定し、保護者の声に対応する各種子育て支援サービス内容を具体的に明記します。

安心・安全な暮らし

問 公共施設の修繕等は、地域の特性やニーズを踏まえて実施するとは。

答 町内会等からの要望を受け、その地域と施設が持つ特徴を最大限に活かすための修繕等の社会基盤整備を行う。

問 消防団の支援強化として、団員が勤務する事業所等に対する優遇措置は。

答 消防団協力事業所表示制度の周知を図り、事業所の地域貢献度の更なるアピールを検討したい。

行財政改革

問 役場職員が能力を発揮できる職場環境や雰囲気をつくる具体策は。

答 職員の優秀さを実感したので、職員が自由闊達に意見を言え、政策提言できる環境をつくり、観光立町にふさわしいおもてなしの心を町民に伝えることのできる役場にしたい。

問 中央省庁や民間との人事交流とは。

答 町における現在の課題の確認を行い、町の方向性にあった人事交流を進めることで、町職員の出向は考えていない。

問 企画戦略推進室の設置は、町の職員で組織するのか、民間からの登用か。

答 段階的に進めることになるが、具体的なことはこれから決めることになる。

工程表と中間評価

問 事業工程表を作成して進捗状況を管理する具体的な手法は。

答 約束を前進、改善、実現するために、政策について緊急、中期、長期達成するものに事業を分けて進み具合を管理し、町民に知らせることとしたい。

問 町民の中間地点で評価は、具体的に誰がどのように評価するのか。

答 具体的内容は検討中であるが、町民代表、マンション居住者代表、民間有識者による評価委員会を設置し評価を受け、結果を公開することを考えている。

